

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	【緊援隊】●●豪雨において、土砂崩れ発生現場での要救助者検索活動について
3. 体験した事例の中心的要素	足場が悪く不安定な土砂崩れ現場での要救助者検索活動
4. 体験した事例の原因・理由	土砂崩れによる軟弱な地盤面や、多数折り重なった倒木上での不安定な体勢で重量物を排除しながらの要救助者検索活動となったことから転倒危険が極めて多かったため。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。)
------------------	------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成30年7月10日 午後2時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:土砂崩れによる軟弱な地盤面及び多数折り重なった倒木上
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落、転倒、崩壊・倒壊(に巻き込まれる)、切り・こすれ、踏み抜き、腰痛
7. 事例体験時の活動	救助現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他:土砂崩れ現場での安否不明者検索活動時の重量物排除作業
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が踏いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	はい

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

◆平成30年広島県豪雨災害に伴う緊急消防援助隊大阪府隊 活動場所での安否不明者検索活動時のヒヤリハット体験

当該場所に生き埋め状態の可能性がある安否不明者の検索救助活動に従事。
活動現場は土砂崩れにより軟弱な地盤面のうえ、流されてきた多数の倒木や岩石が堆積しており、
活動に先立ち、これらの重量物を人力にて排除した後の検索活動への着手となった。

上記の状況から、足場が非常に悪いなかでの人力による重量物排除及び検索救助活動時における
スリップ転倒事故等のヒヤリハット事案が複数回発生したものである。

※以下、現場状況写真

